

# 東京都内保証利用先企業 金融動向調査

平成22年10月～12月期

● 調査依頼5,212社 ● 有効回答企業数1,138社

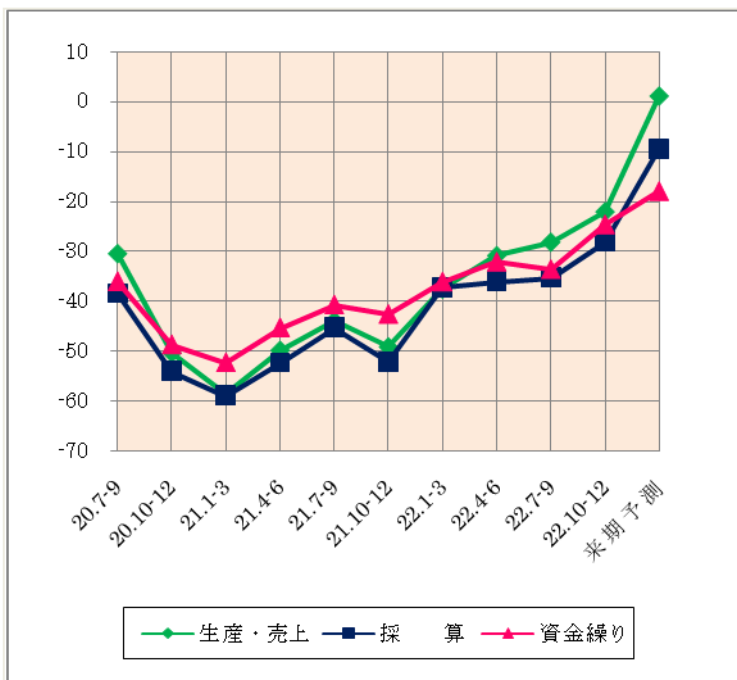
信用保証をご利用いただいている皆様の景況・金融動向を把握する為に、国の機関である日本政策金融公庫と共同で「保証先中小企業金融動向調査」を四半期ごとに実施しております。ここでは東京都内保証利用先企業の平成22年10～12月期の調査結果についてお知らせ致します。

## 景気動向指数DIとは

景気動向指数DIは、「好転した企業の割合」から「悪化した企業の割合」を引いて算出するもので、「好転」傾向と「悪化」傾向のどちらが強いのか、いわば綱引きをして景気動向を判断する指数です。また、このデータは「季節修正値」を利用しています。この季節修正値は、季節商品等の影響などの季節的な要因を取り除いた景気動向を判断するための数値です。

## 概況 項目ごとの総合がすべて改善 来期予測でも更なる改善の見通し

【「生産・売上」「採算」「資金繰り」総合値グラフ】



### ◎総合

今期(平成22年10月～12月期)調査による景気動向指数(総合値)は、「生産・売上」が前期比+6.1ポイントの▲22.1、「採算」が前期比+7.2ポイントの▲28.1、「資金繰り」が前期比+9.0ポイントの▲24.6とすべての項目でマイナス幅が縮小した。中でも生産・売上DIと採算DIについては4期連続で改善した(左グラフ参照)。

業種別で見ると、今期実績では建設業、小売業およびサービス業が「生産・売上」、「採算」、「資金繰り」の全ての項目で回復した(次ページ以降のグラフ参照)。

今後3ヵ月の見通し(来期予測)では、「生産・売上」の総合値が来期比+23.2ポイントと最も改善の見通しを立てている(左グラフ参照)。

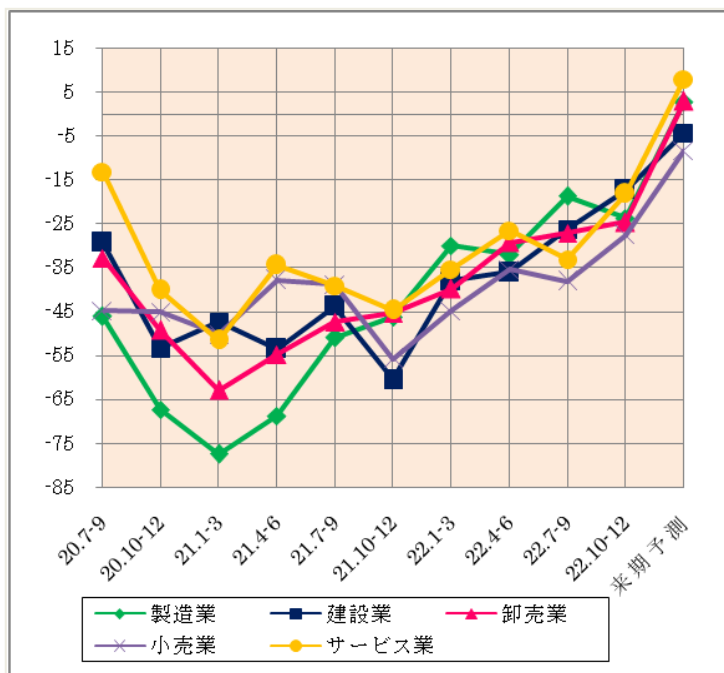
「生産・売上」「採算」「資金繰り」実績・予測値(総合)

	生産・売上	採算	資金繰り
前期末予測	-13.3	-23.6	-30.5
今期実績	-22.1	-28.1	-24.6
来期予測	1.1	-9.5	-17.9

◆次ページ以降、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目別解説となっています。

## 生産・売上

【業種別「生産・売上」グラフ】



今期の生産・売上DIは、総合で▲22.1（前期比+6.1ポイント）と回復した。

業種別では、製造業が▲23.7（前期比-5.0ポイント）と唯一の悪化となった。

卸売業は前期比+2.5ポイントと小幅ではあるが7期連続での回復となり、建設業は前期比+9.0ポイントと4期連続で回復し順調に推移。

小売業、サービス業はそれぞれ前期比+10.6ポイント、+14.9ポイントと大幅に改善の方向へと転換した。

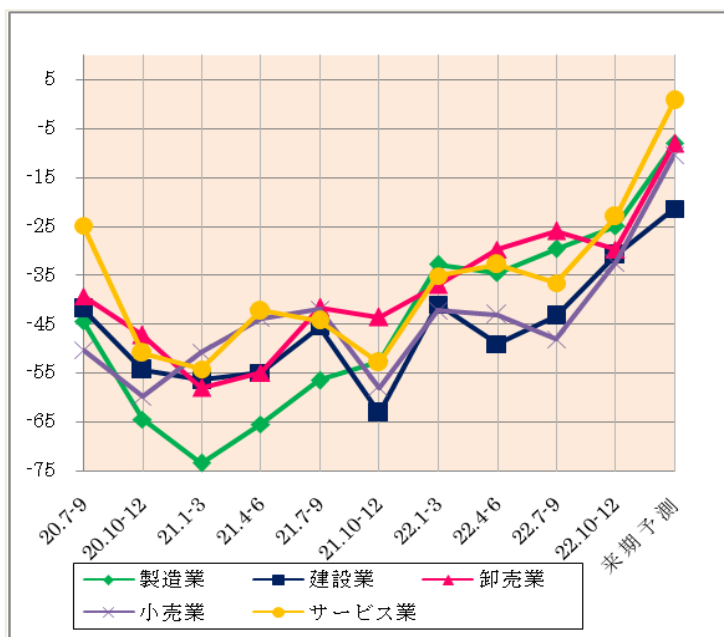
来期予測では製造業、卸売業、サービス業がそれぞれマイナス値からプラス値への改善を見込んでいる。

業種別「生産・売上」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測	-22.9	-15.4	-9.5	-27.1	-3.3	-13.3
今期実績	-23.7	-17.3	-24.6	-27.5	-18.2	-22.1
来期予測	2.8	-4.3	3.0	-8.3	7.9	1.1

## 採算

【業種別「採算」グラフ】



今期の採算DIは総合で▲28.1（前期比+7.2ポイント）と4期連続での回復となった。

業種別では、卸売業が▲29.8（前期比-3.8ポイント）と4期ぶりの悪化へと転じた。

一方、建設業、小売業、サービス業はそれぞれ前期比+12.5ポイント、+15.6ポイント、+13.6ポイントと10ポイント以上の回復となり、製造業は前期比+4.7ポイントと2期連続での回復となった。

来期は総合で▲9.5（今期実績比+18.6ポイント）と改善の見通しを立てている。

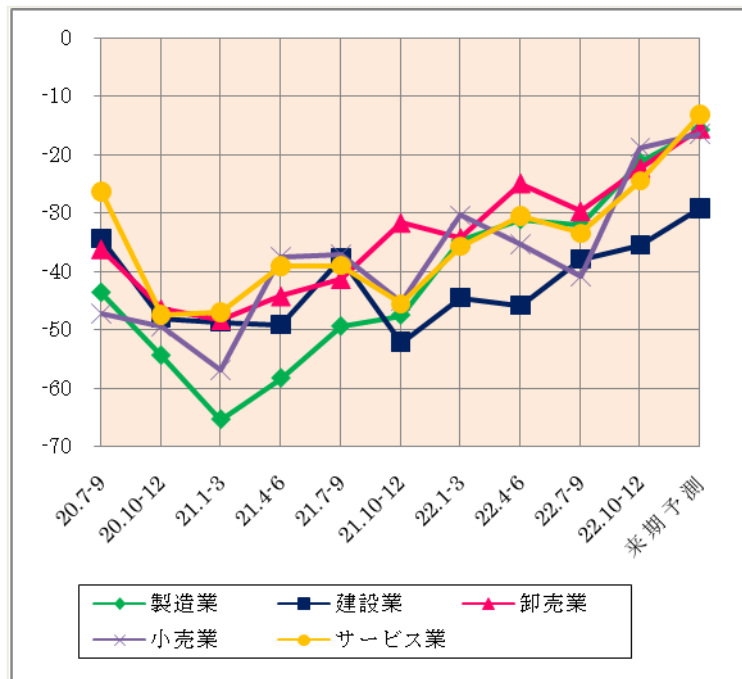
採算については卸売業、小売業、サービス業がそれぞれ20ポイント以上の改善を予測しており来期への期待が高いと窺える。

業種別「採算」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測	-28.6	-30.5	-20.7	-35.8	-12.0	-23.6
今期実績	-25.0	-30.9	-29.8	-32.5	-23.0	-28.1
来期予測	-8.1	-21.4	-8.1	-10.4	0.7	-9.5

## 資金繰り

【業種別「資金繰り」グラフ】



今期の資金繰りDIは、総合で▲24.6（前期比+9.0ポイント）と改善した。

業種別では「生産・売上」「採算」と異なりすべての業種で改善。もっとも改善値が高かったのは小売業の前期比+22.1ポイントとなった。

そのほか建設業は前期比+2.4ポイントと2期連続での改善となり製造業、卸売業、サービス業でもそれぞれ前期比+10.6ポイント、+7.4ポイント、+9.0ポイントの改善であった。

来期予測は総合で▲17.9（今期実績比+6.7ポイント）と改善の見込み。

業種別ではすべての業種が改善を予測しているが、なかでもサービス業の▲12.9（今期実績比+11.4ポイント）が最も高い改善の見通しとなっている。

業種別「資金繰り」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測	-30.8	-34.6	-26.6	-41.8	-25.8	-30.5
今期実績	-21.2	-35.4	-22.2	-18.7	-24.3	-24.6
来期予測	-15.6	-29.0	-15.4	-16.3	-12.9	-17.9